

令和4(2022)年度 栃木県産農産物の輸出実績について

令和5(2023)年6月16日 農政部経済流通課

○令和4(2022)年度の栃木県産農産物の輸出額は、2年連続で過去最高を更新し、5億5,982万円(前年度比105%)となった。
 ○牛肉は、主要輸出先国での経済回復や日本食への関心の高まりなどのニーズを捉えた積極的な販売により過去最高となった。
 ○なし及びいちごは、産地と輸出事業者が連携し輸出向けに十分な出荷量が確保できたほか、知事トップセールスを契機とした現地バイヤーに対する積極的な販促活動により輸出額が増加した。特になしは、4,000万円を突破し過去最高となった。

※加工食品を含めた「農産物及び加工食品の輸出実績」については、令和6年2月に公表予定。

1 輸出額

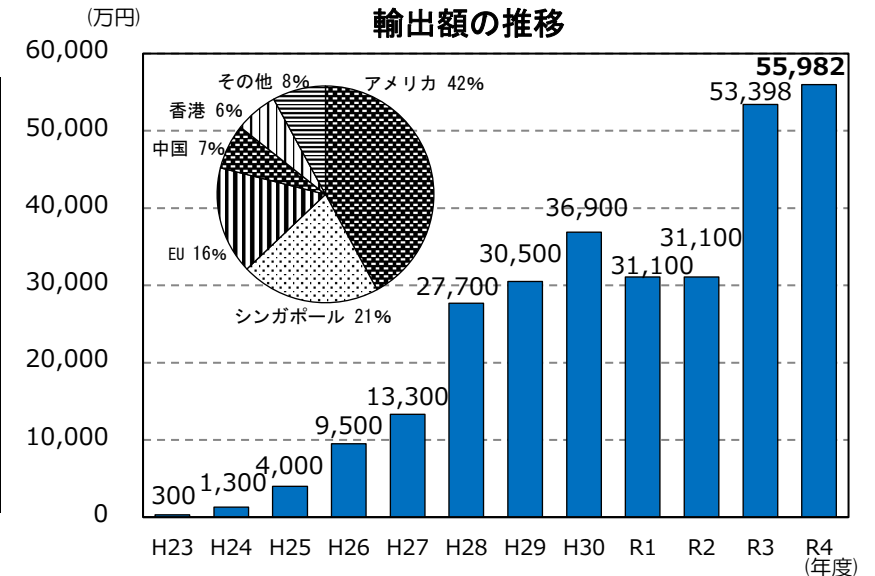
5億5,982万円(前年度比105%)

2 主な輸出品目の内訳

品目	輸出額(前年度比)	割合	主な輸出先(上位国・地域)
牛肉	3億3,704万円(106%)	60.2%	アメリカ、シンガポール、EU
花き	1億814万円(122%)	19.0%	EU、中国、アメリカ
なし	4,278万円(142%)	7.6%	タイ、香港、インドネシア
コメ	2,513万円(35%)	4.5%	アメリカ、香港、シンガポール
いちご	2,480万円(130%)	4.4%	マレーシア、香港、シンガポール
その他	2,192万円	4.2%	香港、アメリカ

◆牛肉、花き、なしは過去最高

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため内訳と計は必ずしも一致しない。



3 令和5年度の主な取組

県産農産物輸出額目標10億円(令和7年度)に向けて、以下に取り組めます。

- 輸出に取り組む生産者の輸出ステップに応じて、専門家派遣や輸出事業者とのマッチングなどを支援します。
- 輸出促進員や輸出支援員を設置するほか、国が認定する品目団体への加入やプロモーションへの参加など体制強化を図ります。
- 輸出先国・地域の課題の分析や新たな販路の開拓など、戦略的に事業を展開することで販路拡大を図ります。